



2018年7月11日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健 司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社グループ会社のジェネティックラボが平成30年度ノーステック財団の
【札幌補助事業】「先端研究産業応用検証補助金」に採択されました

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボ（代表取締役社長：福永健司、北海道札幌市）は、この度、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（略称：ノーステック財団）【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助金」に「NGS診断技術を応用した早期肺癌^{*1}ゲノム検査・研究連動型事業の構築」として応募し、本日採択されましたのでお知らせ致します。

1. 目的

このたび採択されました課題は、北海道大学病院 臨床研究開発センター 生体試料管理室（バイオバンク）およびゲノム・コンパニオン診断研究部門と連携し、手術時に採取された肺癌組織から次世代シーケンサー（NGS）^{*2}を用いたマルチプレックス体細胞遺伝子検査^{*3}と術後のデジタルPCR^{*4}を用いた血漿 ctDNA^{*5}検査（リキッドバイオプシー^{*6}）を組み合わせ、切除可能な肺癌患者のゲノムプロファイリングや術後再発モニタリングに基づくゲノム診療と研究を連動した仕組みを構築し、肺癌患者の今後の治療に役立てることを目指します。

2. 事業名

健康関連産業競争力強化事業「先端研究産業応用検証補助金」

3. 課題名

「NGS診断技術を応用した早期肺癌ゲノム検査・研究連動型事業の構築」

4. 採択企業

株式会社ジェネティックラボ

5. 補助事業期間

交付決定後、2019年3月末まで

6. 補助金額

1,280万円

7. 業績への影響

本補助金の交付決定による2019年3月期の業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後開示すべき事項が発生した場合は速やかに開示いたします。

◆ご参考 ※1 肺癌

肺癌は、気管支や肺胞の細胞が何らかの原因で癌化したものです。日本における患者数は14万人で、癌で死亡した患者数の部位別で一位です。肺癌は小細胞肺癌と非小細胞肺癌に大別され、病気の特徴や薬の効果が異なります。

※2 次世代シーケンサー (Next Generation Sequencer : NGS)

次世代シーケンサーは、ランダムに切断された数千万-数億のDNA断片の塩基配列を高速に読み取りゲノム情報を解読する装置です。

※3 マルチプレックス体細胞遺伝子検査

マルチプレックス体細胞遺伝子検査は、多重的で長大な遺伝子の中から欠失や重複を検出する検査です。

※4 デジタルPCR

デジタルPCRは、従来のリアルタイム定量PCRに代わって、核酸の絶対定量や希少対立遺伝子検出を高い精度で行うことができる装置です。

※5 ctDNA (血中循環腫瘍由来DNA)

ctDNAは、血液中にわずかに漏れ出した腫瘍由来のDNAです。

※6 リキッドバイオプシー

リキッドバイオプシーは、主に癌の領域で、従来の腫瘍組織を直接採取し検査する生検に代わり、血液や尿などの体液で診断や治療効果予測を行う技術です。

以上